

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
561	老人保健指導経費	01	一般会計		
		04	衛生費		
基本施策	1	10万市民の健康を維持する	01	保健衛生費	
			01	保健衛生総務費	
担当部課名	健康福祉部 健康保険課		121	老人保健指導経費	
作成者氏名	宮本一美子	連絡先	22-9660	01	老人保健指導経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)					
老人保健受給者		医療費の適正化が図れる。					
本年度事業内容	年3回老人保健受給者で該当月の受診者に「医療費のお知らせ」を送付する。						
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等	老人保健法

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	1,055	2,327	2,305
委託料		825	705
通信運搬費	800	1,502	1,600
消耗品費	255		
その他			
合計(A+B)	1,775	3,047	3,025
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	1,775	3,047	3,025
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
受診者全員に通知	人	12,627	12,000	12,500			
通知回数	回	1	3	3			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
受診者全員への通知	医療費への認識を深め、重複受診、多受診を減少させ医療費の適正化が図れる。	人	12,627 目標 ( )	12,000	12,500
通知回数	医療費への認識を深め、重複受診、多受診を減少させ医療費の適正化が図れる。	回	1 目標 ( )	3	3

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

H17は1回であるが、1年分の受診状況を通知。  
H18から3回となったが、通知内容は1ヶ月分、年間3ヶ月分となった。  
1回の通知の受診月数を増やす必要がある。

評価	必要性	4	医療費適正化のため必要である。	総合評価
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	3		
				A